

公表 施設における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスひかりワークス高須				公表日	2026年 1月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	引き続き継続していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令を遵守し、子どもと個別対応できるよう人員を配置しております。	引き続き継続していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		階段の段差が高いですが、手すりが付いております。	引き続き継続していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		お子さまが安心して過ごせるようお子さまや活動に合わせた環境を設定しています。	清潔に保つことを心がけます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子さんの特性や状況に応じて個別の部屋を用意しております。	引き続き継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月事業所全体にて目標設定を行い、振り返りも実施しています。	引き続き継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回利用者へ自己評価アンケートを実施し、保護者からの声を聞くことで業務改善につなげています。	引き続き継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月職員会議を実施し、職員からの意見を求めるようにしています。また、年に1回職員へ自己評価を実施し、業務改善につなげています。	引き続き継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は、利用者・社内の2者評価をとっており、第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		1か月に1度、全職員向けの研修を行っております。職員に応じて外部研修の受講を推奨しています。	積極的に研修案内をしていきます
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	支援プログラムは作成しており、パンフレットにプログラムの一部を掲載しています。	日々のプログラムについても事業所より、HPで公表してまいります。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントをもとに、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、支援計画を策定しています。子ども一人ひとりの特性に合わせたプログラム内容を計画し、達成度に合わせて変化させています。	引き続き継続していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画作成のための会議を職員間で実施し、意見交換をしながら共通理解の下で計画作成をしています。	引き続き継続していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画内容を基に日々の支援を実施しています。	引き続き継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		指導記録やモニタリングシートのフォーマットを統一しています。	引き続き継続していきます。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の観点から支援内容を設定し、計画を作成しております。	引き続き継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	毎月の職員会議で月のプログラムについてチームで立案をしています。	引き続き継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	毎月の職員会議でプログラムが固定化しないよう職員間で意見を出し合い、様々なプログラムを実施しています。	引き続き継続していきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	お子さまの特性や状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで放課後等デイサービス計画を作成し、支援を実施しています。	引き続き継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	日々の昼礼でその日の支援内容について職員間で打ち合わせを行っています。	引き続き継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	次の支援に活かせるよう、翌日の昼礼時に職員間で支援のフィードバックを行なっています。	引き続き継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日々指導記録をとり、見直すことで子どもの成長や変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。	引き続き継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	支援計画の更新ごとに目標と支援内容の見直しを行い、それを基に次の計画を作成しています。	引き続き継続していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	○	毎月の職員会議で職員間で意見を出し合い、ガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで様々なプログラムを実施しています。	引き続き継続していきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	活動選択を始め、活動の中でもお子様が自分で選択・決定する場面を設け支援を実施しています。	引き続き継続していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	引き続き参加してまいります。	引き続き継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	体制を整え必要に応じて連携を図っています。	引き続き継続していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	必要に応じて連調整を行っています。	引き続き継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		現在高学年以上のお子様のご利用が多数のため未就学児でのご利用の施設との連携はありませんが、必要に応じて情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	移行会議に参加し、必要に応じて情報共有をしています。	引き続き継続していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて助言や研修を受ける機会を設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	○	地域のお子様を招いたイベント計画実施しています。また、長期休み中は地域の企業と提携した仕事体験のプログラムを計画し、地域社会での活動を実施しています。	引き続き継続していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	引き続き参加してまいります。	引き続き参加してまいります。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	送迎時やお迎えの際に保護者にお伝えする時間を設けています。直接お会いできない方は月に1回以上はメール等で様子をお伝えする機会を設けております。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングのご案内を配布し、申し込みを受け付けております。	その他の研修や家族支援に繋がる情報提供もしていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。	引き続き継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		初回面談やモニタリングでご家族やお子様の意向を聞きながらサービスを提供しています。	引き続き継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画作成の際に内容に相違がないか確認し、同意をいただいています。	引き続き継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者向けペアレントトレーニングのプログラム実施や、家族支援を通じて、アドバイスの機会を設けております。	引き続き継続していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		ご要望に応じて保護者会を開催いたします。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所に受付者・解決責任者を選任し、苦情受付体制を整えております。頂いた苦情に対しては、社内フローを定め迅速かつ適切に対応しています。	引き続き継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		2か月ごとに事業所たよりを発行したりHP、SNSを活用したりして事業所の情報を発信しています。	引き続き継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定し、適切な対応を行っています。	引き続き継続していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		わかりやすい伝達方法を工夫したり、伝わる方法をお子様や保護者に合わせるようにしています。	引き続き継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域のお子様を招いたイベント計画実施しています。	引き続き継続していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	マニュアルを策定し訓練を実施していますが、周知には至っておらず今後事業所だよりやメールを活用し取り組んでまいります。	マニュアルを策定し訓練を実施していますが、周知には至っておらず今後事業所だよりやメールを活用し取り組んでまいります。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		計画を策定し、訓練を行っています。	計画を策定し、訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		相談支援専門員や保護者から必要な情報をいただいています	相談支援専門員や保護者から必要な情報をいただいています
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、療育時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。	全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、療育時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	安全計画を作成しています。	今後必要な訓練研修を実施していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			周知には至っておらず今後事業所だよりやメールを活用し取り組んでまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告フォームを作成し、再発防止に向けた対応について職員間で共有しています。	引き続き継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員に向けて虐待防止に関する研修を実施しています	引き続き継続していきます。

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	身体拘束に関しては、本人の命や身体を保護するため緊急を要する場合にのみ、行うことを職員の共通認識としており、支援計画に記載し保護者の同意を得ています。またやむを得ず身体拘束を行った場合は記録に残すようになっています。	引き続き継続していきます。
----	--	---	--	---------------